

カテゴリー	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考
				1	2	3	4	法律学の基本と応用	政治と法の基礎	
13	日本の政治A	半期	2		○					題目・テーマが異なれば複数履修可
	日本の政治B	半期	2		○					
	アメリカの政治	半期	2		○					
	公共政策	半期	2		○					
	比較政治A	半期	2				○			
	比較政治B	半期	2				○			
	地方自治論A	半期	2				○			
	地方自治論B	半期	2				○			
	地域研究	半期	2				○			
	政治学特殊講義Ⅰ	半期	2				○			
政治学特殊講義Ⅱ	半期	2				○				
14	メディア論	半期	2		○				シチズンシップ科目と9～15の8カテゴリーのうち、5カテゴリ以上でそれぞれ8単位以上計40単位以上	
	社会運動論	半期	2		○					
	政治家論	半期	2		○					
	政党論	半期	2		○					
	政策過程論	半期	2				○			
	選挙論	半期	2				○			
	NPO論	半期	2				○			
	福祉国家論	半期	2				○			
	政治文化論	半期	2				○			
	政治変動論	半期	2				○			
	ジェンダー論	半期	2				○			
環境政治学	半期	2				○				
平和研究	半期	2				○				
15	基礎演習	半期	2	○					3年次以降での履修は不可 同一年度で複数履修不可。担当教員が異なれば、最大4単位まで履修可 同一年度で複数履修不可。最大8単位まで履修可 題目・テーマが異なれば、同一年度で4単位まで複数履修可。最大8単位まで履修可 「法教育入門」が修得済みであること 題目・テーマが異なれば、4単位まで複数履修可	
	演習	通年	4				○			
	臨床法学演習	半期	2				○			
	法教育演習	半期	2				○			
	地域研究演習	半期	2				○			
	外書講読（法律）Ⅰ	半期	2		○			⑦ 単位はカテゴリ7に算入		
	外書講読（法律）Ⅱ	半期	2				○	⑦☆ 単位はカテゴリ7に算入		
	外書講読（政治）Ⅰ	半期	2		○					
外書講読（政治）Ⅱ	半期	2				○				
16	社会経済学	半期	2		○					
	公共部門と財政	半期	2		○					
	社会保障論	半期	2		⊖	○				
	国際経済	半期	2		○					
17	日本史概論Ⅰ	半期	2	○						
	日本史概論Ⅱ	半期	2	○						
	東洋史概論Ⅰ	半期	2	○						
	東洋史概論Ⅱ	半期	2	○						
	西洋史概論Ⅰ	半期	2	○						
	西洋史概論Ⅱ	半期	2	○						
	哲学概論A	半期	2				○			
	哲学概論B	半期	2				○			
	倫理学A	半期	2		○					
	倫理学B	半期	2		○					
心理学A	半期	2					○			
心理学B	半期	2					○			

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※「法律学の基本と応用コース」を選択した者は、カテゴリ3～7（それぞれ「④」、「⑤」、「⑥」および「⑦」の印がついた科目を含む）のいずれかにおいて12単位以上を修得し、かつ「☆」の付された科目群から4単位以上を修得する必要がある。なお、「☆」の付された科目の修得単位とカテゴリ3～7のいずれかでの科目の修得単位とは、重複してよい。

※「政治と法の基礎コース」を選択した者は、シチズンシップおよびカテゴリ9～15のうち最低でも5つのカテゴリにおいて8単位以上を修得する必要がある。